

関連資料

1 西東京市史跡公園整備構想懇談会

(1) 委員名簿

◆西東京市史跡公園 整備構想懇談会	氏 名	備 考	
	都築 恵美子	座長	西東京市文化財保護審議会委員 練馬区郷土資料調査員（考古学）
	近辻 喜一	副座長	郷土史研究者
	加藤 秀之		公募市民
	都築 良吉		公募市民
	斎藤 萬曹		公募市民
	山田 治		公園緑地課公園計画係長
	小林 俊二		社会教育課社会教育係主査

(2) 懇談会等の開催状況

	開催日時 開催場所	主な検討テーマ等	備 考
第1回 懇談会	平成16年07月13日（火） 15:00～17:00 保谷庁舎4階B会議室	◆整備構想策定の説明他 ・ 委員自己紹介、事務局職員紹介 ・ 座長・副座長の選出 ・ 会議録、傍聴について ・ 策定の経緯、策定方針等の説明 ・ 意見交換	・ 教育長挨拶 ・ 委員委嘱
第2回 懇談会	平成16年08月04日（水） 13:15～17:15 東村山ふるさと歴史館 下宅部遺跡はっけんのもり	◆東村山市の施設見学 ・ 歴史館での説明及び質疑 ・ はっけんのもりでの説明及び質疑 ・ 意見交換：「視察」の感想	・ 事例視察
第3回 懇談会	平成16年10月12日（火） 13:30～16:00 東伏見市民集会所	◆整備構想の審議－その1 ・ 現地踏査 ・ 地域の状況、史跡公園事例の説明 ・ 意見交換：「市民や地域にとっての あるべき姿」を考える ・ 傍聴者からの意見	・ 地元での開催 ・ 傍聴者7名 ・ 近隣へのチラシ配布
第4回 懇談会	平成16年11月09日（火） 15:00～17:00 保谷庁舎4階A会議室	◆整備構想の審議－その2 ・ 現地踏査 ・ 史跡公園事例の特性評価の説明、 事例の追加報告 ・ 意見交換：「史跡公園としてのある べき姿」を考える ・ 傍聴者からの意見	・ 傍聴者1名
地元 説明会	平成17年01月27日（木） 14:00～15:30 東伏見市民集会所	◆中間まとめの報告 ・ 中間まとめの説明 ・ 意見交換	・ 参加者3名
第5回 懇談会	平成17年02月08日（火） 15:00～17:00 保谷庁舎2階第1会議室	◆整備構想のまとめ ・ 最近の発掘調査結果の報告 ・ 提案の説明 ・ 意見交換	・ 傍聴者1名

2 下宅部遺跡はっけんのもり

(1) 視察の概要

第2回懇談会（平成16年8月4日）は事例研究として、東村山市の下宅部遺跡を視察した。

視察の概要は次のとおりである。

- ・ 13:15～14:00 保谷庁舎に集合後、東村山ふるさと歴史館へバスで移動
- ・ 14:00～14:05 東村山ふるさと歴史館で根津館長より挨拶
- ・ 14:05～15:05 石川学芸員から下宅部遺跡の説明及び質疑応答
- ・ 15:05～15:15 宅部遺跡はっけんのもりへバスで移動
- ・ 15:15～16:00 下宅部遺跡はっけんのもり現場視察及び質疑応答
- ・ 16:00～17:15 下宅部遺跡はっけんのもりから保谷庁舎へバスで移動後、解散

(2) 質疑応答の内容

① 公園の管理体制について

- ・ 土地は都からの無償貸与だが、公園の管理は東村山市（実際には歴史館）が行っている。整備構想段階でトイレの必要性に関して議論したが、最終的には小学校の見学に必要ということで設置した。トイレの清掃は週2回、シルバー人材センターで行っているが、育てる会のメンバーも自主的に毎夕掃除してくれている。
- ・ 植栽は縄文時代を再現している。落葉樹のため落ち葉の問題はあるものの、石器で木を切る、枝で弓矢をつくる、水路の水の浄化に必要な木炭をつくるための炭焼きや体験学習等を企画し、管理をマイナスに捉えないようにしている。

② 市民参加による仕組みづくり、イベントの仕掛けについて

- ・ 下宅部遺跡公園づくりワークショップ及びその後の「育てる会」も、市民の自由参加で行っている。一度でも参加した人は会員と考えており、現在までに延べ80人の参加を得た。定例会や掃除などに定期的に顔を出すメンバーは15～20名程度で、メンバーが固定化しつつある。固定化によって排他的な会になることを避けたいため現在思案中である。
- ・ 体験学習に加え、「輝け！東村山っ子育成塾」では公園を利用し、植生観察、木のプレート作成（看板）等を実施している。近隣の学校へは出前授業として、公園で体験学習を続けていきたいと考えている。これらイベントの仕掛けは歴史館の役割であるが、アイデアは育てる会からも出してもらい、必ず会に諮っている。
- ・ 学芸員のうち、1名は公園づくり専従として携わっており、ニュースレターの作成、印刷、近隣住民への配布等もすべて一人で行ってきた。最近、育てる会から原稿が出るようになってきているため、歴史館の主導体制から育てる会に一部移行し、いずれは独立したボランティア団体となることを目指している。

(3) 下宅部遺跡の特徴

トトロの森「狭山丘陵」の麓から「北川」にかけて広がる下宅部遺跡は都営住宅の建替え工事に伴って発見された。遺跡調査の結果、縄文時代後・晩期、古墳時代、奈良・平安時代、中世にかけての複合遺跡であることが判明した。全国的にも貴重な水辺での暮らしが復元できる遺跡であることが判明した。これは、今でも豊富な湧水のおかげで、通常の遺跡では残りづらい木の道具や水辺の施設、当時の植物や動物の骨などが良好な状態で保たれたことによる。貴重な遺跡という財産を未来の子どもたちに残すため、都営住宅の建設計画を変更し、遺跡の最重要地点、約 3,000 m²を埋没保存（遺跡が埋まったままの状態を残す方法）することになった。

(4) 「下宅部遺跡はっけんのもり」ができるまで

下宅部遺跡を守り、有効に活用していくため、全国でも数少ない市民参加による「遺跡公園づくり」が始められた。公園づくりのあゆみとして、開園の約 3 年半前から次のような経過で活動が行われた。

① 下宅部遺跡公園づくりワークショップ

平成 12 年 10 月から平成 13 年 10 月にかけて、月 1 回のペースでワークショップを開催した。ワークショップの内容として、学習段階では下宅部遺跡の見学や他の史跡公園の事例視察等を実施した。構想段階では遺跡公園の面積や整備内容について検討し、計画段階では、基本コンセプト「成長する公園」を決定し、大まかな平面図を作成した。計 12 回のワークショップ参加者は延べ約 200 人であった。

② しもやけべ遺跡公園を育てる会（第 1 回から 9 回育てる会）

平成 14 年 5 月から、具体的な基本計画策定に向けての活動を「育てる会」として再開した。市民有志からなる「世話人」で会の運営を始め、近隣の中学校との公園づくりのワークショップ、トトロのふるさと財団との環境教育ワークショップの共催など活動を広げた。遺跡公園の模型をつくり、それをもとに整備や管理・運営方法について市民同士で意見交換を行い、都が委託した設計者との協議も踏まえて公園整備計画を具体化した。計 9 回の参加者は延べ約 200 人であった。

③ （仮称）考古学体験広場しもやけべ遺跡を育てる会（第 10 回から 15 回育てる会）

基本計画図を完成させた。また、活動周知のため企画展を開催し、同時に広場の名称を公募し、「下宅部遺跡はっけんのもり」に決定した。計 6 回の参加者は延べ約 110 人であった。

④ 下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会（第 16 回から 25 回育てる会）

実施設計に向け、設備、管理体制の検討を始め、育てる会の中で、①イベント学習、②管理運営、③植栽管理、④広報の 4 部会を発足させた。実施設計終了後、はっけんのもりの整備工事が始まったが、その間も、縄文土器づくり、野焼き体験、トトロのふるさと財団との環境教育ワークショップ、中学生と看板作成の連続ワークショップを開催した。

平成 16 年 5 月 22 日の誕生会（開園日）には約 500 名の来園者を迎え、育てる会によるさまざまな縄文イベントを実施した。開園以降も、毎月の定例会の開催、清掃、研修見学会を随時継続している。

【表－1 下宅部遺跡公園づくりのあゆみ】

下宅部遺跡公園づくり活動（ワークショップ）（H12.10～H13.10）		
学習段階	第 1 回	活動（ワークショップ）の趣旨説明 スライド上映 参加者 30 名
	第 2 回	現場視察 1：下宅部遺跡の現地（保存区域）見学 参加者 40 名 遺跡の発掘現場において、保存区域や出土遺物を見学
	第 3 回	事例視察 1：東京都埋蔵文化財センター「遺跡庭園」の見学 参加者 18 人
	第 4 回	事例視察 2：東久留米市 しもぎとほんむらいせき の下里本邑遺跡公園、小山台遺跡公園、久留米市郷土資料室 こやまだいいせき の見学 参加者 30 人
	第 5 回	現場視察 2：下宅部遺跡周辺のまち歩き（タウンウォッチング） 参加者 19 人 目的：遺跡の周辺環境を知ることにより、公園の与条件や遺跡公園が地域の中でどのように位置づけられるかを確認し、公園構想の参考にする。 方法：参加者を 3 コースに分け、地図を作成しながら遺跡周辺の自然、歴史、社会環境の確認と意見交換を行う。
構想段階	第 6 回	下宅部遺跡公園の与条件を確認 参加者 13 名 目的：都営住宅を建設する東京都住宅局の担当者を交えた話し合いにより、公園の範囲や周辺の状況などの与条件について確認する。
	第 7 回	まち歩き（タウンウォッチング）のまとめと公園のイメージづくり 参加者 16 名
	第 8 回	事例視察 3：埼玉県富士見市 みずこかいつか の水子貝塚公園と難波田城公園 なんばたじょう の見学 参加者 15 名 目的：市民学芸員制度（ボランティア）を導入している両公園を視察し、公園の管理と運営面の参考とする。
計画段階	第 9 回	遺跡公園の基本構想の具体的な検討 参加者 10 名
	第 10 回	遺跡公園整備の具体的な内容の検討 参加者 10 名 公園の造園、管理・運営、活用
	第 11 回	遺跡公園整備案のまとめ 参加者 10 名 平面イメージの作成
	第 12 回	遺跡公園の平面イメージ図と概要の完成 参加者 12 名

しもやけべ遺跡公園を育てる会（H14.5～H15.1）	
第 1 回	育てる会の立ち上げ及び世話人の決定 参加者 12 名 世話人会は定期的に開催し、育てる会の活動方針案等を決定し、育てる会に諮ることが決定
第 2 回	具体的な池状遺構の復元案についての検討 参加者 20 名
第 3 回	植栽や立体的な公園イメージをもとに整備案について 参加者 24 名 ・中学校の「父親の会」の活動の一環として、1 日体験学習（遺跡発掘作業への参加、遺跡・遺物の見学、縄文食作り、遺跡公園づくり）を実施。その後、同中学校の文化祭でそのときの模様を展示。（育てる会のメンバーが父親の会に参加しており、その働きかけにより実現。遺跡との距離関係では一番遠い学校。）
第 4 回	トトロのふるさと財団「環境教育ワークショップ」との共催による遺跡公園の活用についての意見交換会 参加者 34 名
第 5 回	遺跡公園の模型づくり 参加者 19 名 小学生、中学校教員の参加もあり
第 6 回	整備案の検討 参加者 16 名 前回作成した模型をもとに、植栽、トイレ、池状遺構、園内流路などの配置や使用を検討
第 7 回	研修会：長野県「原始・古代ロマン体験館」及び「尖石縄文考古館」 とがりいし の見学 参加者 19 名
第 8 回	専門家を交えて基本設計の具体的な検討会 1 参加者 21 名
第 9 回	専門家を交えて基本設計の具体的な検討会 2 参加者 25 名 ・明法中・高等学校の遺跡見学会の実施 ・住民説明会の実施

(仮称)考古学体験広場しもやけべ遺跡を育てる会 (H15.2～H15.7)	
第10回	公園基本計画図の完成 参加者 17名
・遺跡公園 PR のための企画展実施（ふるさと歴史館にて2ヵ月間） ・育てる会はボランティアとして参加	
第11回	今後のスケジュールの確認 参加者 18名
第12回	企画展の見学及び車椅子体験 参加者 22名
	今後の実施計画に活かすために参加者が実際に車いすを体験
第13回	研修会：「横浜市歴史博物館」及び「大塚・歳勝土遺跡公園」の見学 参加者 15名
第14回	防犯の視点からの公園づくりについての警察署との検討会 参加者 19名
第15回	専門家を交えて実施設計の検討開始 参加者 19名
	4つの検討部会の設立 ①管理・運営 ②植栽管理 ③学習・イベント ④広報

下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会 (H15.8～H16.5)	
第16回	各部会の報告 参加者 26名
・公園の名称選定会議 ・夏まつりにイベント参加（展示や縄文人に扮装し、音楽演奏など）	
第17回	実施設計の進捗状況の確認および今後の会の活動について 参加者 21名
第18回	実施設計図の確認と都営住宅入居者への活動周知の方法に関して 参加者 16名
・学習・イベント部会による中学生土曜講座「はっけんのもり看板をつくろう」活動（ワークショップ）の開催（計8回及び発表会）	
第19回	実施設計の最終検討と確認 参加者 16名
・縄文土器づくり活動（ワークショップ）の開催 ・研修会：品川歴史館と大森貝塚遺跡庭園の見学	
第20回	縄文野焼き・看板づくりおよび定例会
第21回	開園イベントについて 参加者 25名
第22回	トトロのふるさと財団との共催による環境教育活動（ワークショップ）の開催（2日間） 参加者：1日目 33名、2日目 28名
第23回	開園イベントおよび会の年間活動計画について 参加者 18名
第24回	誕生会（開園日）の検討
第25回	誕生会（開園日）準備および予行演習

開 園 (H16.5.22)	
・開園以降も月1回の定例会の開催や清掃、研修見学会などを随時継続中	

注）網掛けの活動は、育てる会の定例会と併行して行われた活動

3 近隣の史跡公園

(1) 史跡公園の特性比較

【表－2 史跡公園事例一覧】

自治体名	公園名	住 所	面 積 (㎡)	所有権	施 設	開設事業 (準備事業)	付帯施設	開設年次 (年)	費 用 (万円)	備 考	発掘調査
東村山市	下宅部 遺跡 はっけん のもり	多摩湖町 4-3	約 3,000	都	①説明板 ⑥縄文の樹木 ②トイレ・用 ⑦外灯 具入れ ③水路 ④池状遺構 ⑤広 場・丘 (原っぱ)	計画づくりワ ークショップ の開催 育てる会の活 動とオープニ ングセレモニ ーの開催など	南側に連絡 通路（通学 路）を併設	平成 16	実施設計 約 500 工事費 約 4,500	都営多摩湖町四丁目 団地内 公園整備は都が行 い、市は都から土地 を無償貸与し、管理 している	一部調査
東久留米市	小山台 遺跡公園	小山 1-10	4,399	市	①説明板 ⑦樹木 ②竪穴住居跡 ⑧外灯 ③トイレ ⑨駐輪場 ④ベンチ ⑤あづまや ⑥広場		東京都の緑 地保全地域 (雑木林)・ 広場	昭和 57		付帯施設他は民有地	一部調査
東久留米市	下里本邑 遺跡公園	野火止 3-3	約 8,000	都住宅 供給公社	①説明板 ⑥ベンチ ②住居跡 ⑦広場 (弥生) ⑧樹木・植込 ③旧石器時代 ⑨外灯 礫群 ⑩駐輪場 ④トイレ ⑪柵（民地と の境界） ⑤水飲み場		別途、下里 本邑遺跡館 があり、そ こには発掘 品が展示さ れている	昭和 57		都住宅供給公社下里 第2住宅内 公園整備は都住宅供 給公社が行い、市は 都住宅供給公社から 土地を無償貸与し、 管理している	全体調査か？
練馬区	早宮 史跡公園	早宮 1-18	1,800	区	①説明板 ⑥広場 ②竪穴住居跡 ⑦見晴らし台 (一部復元) ⑧時計塔 ③トイレ ⑨外灯 ④水飲み場 ⑩駐輪場 ⑤ベンチ ⑪柵・低い堀	発掘体験、土 器づくりなど	なし	平成 4		体験学習で区内小中 学校から、延べ 1,344 人が参加した	試掘調査
練馬区	池淵 史跡公園	石神井町 5-12	7,736	区	①説明板 ⑦外灯 ②水飲み場 ⑧柵、ブロッ ク塀（区民 プールとの 境界部分） ③ベンチ ④パーゴラ ⑤広場（土・ 原っぱ） ⑥樹木・植込	なし	東京都の公 園風致地区	昭和 52 (発掘調 査：昭和 47・48)		遺構を盛土保存 石神井公園・区民プ ールに隣接している	全体調査 (12,000 ㎡) 約 1/2 を公 園として保 存、他はプ ールなどの 施設に

自治体名	公園名	住 所	面 積 (㎡)	所有権	施 設	開設事業 (準備事業)	付帯施設	開設年次 (年)	費 用 (万円)	備 考	発掘調査
富士見市 (埼玉県)	水子貝塚 公園	大字水子 2003-1	約 39,000	市	①展示館（ガイダンス施設） ②案内板 ③トイレ ④水飲み場 ⑤ベンチ ⑥貝塚表示 ⑦復元住居 ⑧竪穴住居跡 ⑨学習広場 ⑩説明広場 ⑪展望台 ⑫池 ⑬園路 ⑭樹木・植込 ⑮門・柵	昭和 45 年 都市公園の都市計画決定 平成 13 年 駐車場設置の都市計画決定	資料館 駐車場	平成 6	土地 取得費約 386,000 事業費約 77,000 駐車場 事業費約 22,000	昭和 44 年 国の史跡に指定 平成 10 年 考古館が移転 平成 12 年 考古館を資料館に名称変更	一部調査

【表－3 史跡公園事例の特性評価（長所、短所等）】

史跡公園名	長 所	短 所 等	備 考
1 下宅部遺跡 はっけんのもり (東村山市)	- 公園の建設主体である東京都の協力が得られた。 - 市立ふるさと歴史館が「はっけんのもり」の管理・運営主体である。 - 市立ふるさと歴史館が仕掛け人となり、市民参加で「公園づくりワークショップ」と「育てる会」を運営してきた。オープニングセレモニーが終わってからも、体験学習等のプログラムが継続して企画・実施されている。 - 遊具は置かず、子どもたちの体験学習利用に配慮し、トイレを設置した。 - 豊富な湧水と雨水を取り込むことで水路を復元し、水質浄化には木炭を利用している。 - 遺構の深さにあわせて小山をつくり、地面は芝で覆い、縄文の森は苗木から育てている。	- 縄文から古代までの複合遺跡のため歴史的事実をわかりやすく伝えにくい（水路は古代の川の流れ、通路は縄文の川の流れである）。 - 芝生の管理が難しい。 - 通路をカラーコンクリートで舗装した。	- 都営住宅の建替え事業のときに発見され、市が保存に乗り出した。 「はっけんのもり」は条例公園としては位置づけられていない。 - トイレにはシャッターが設置されている。
2 小山台遺跡公園 (東久留米市)	- 公園の周囲は樹木で植栽し、中央部は芝生のひろばにしてある。 - 高台という立地を活かしたつくり方のため、縄文人が住んだ立地がわかりやすい。 - 隣接する民有地を借り上げて保全緑地になっている。 - 住居跡の遺構は樹脂で固めてあるため、保存状態はよいが、他の遺跡の住居跡である。 - 遊具は置かずに、子どもたちの体験学習利用に配慮し、トイレを設置した。	- 住居跡の遺構は他の遺跡から移設したものである。 - 子ども向けの説明板がない。	地元の保存運動を受けて、市が公園を整備した。
3 下里本邑遺跡公園 (東久留米市)	- 見晴らしのいい場所にあるため、遺跡は何も手を加えずに保存した。 - 高台という立地を活かした公園づくりとなっている。 - 隣接地に、出土品を収蔵している遺跡館がある。 - 遊具は置かず、子どもたちの体験学習利用に配慮し、トイレを設置した。	- 複合遺跡のため歴史的事実をわかりやすく伝えにくい（違う時代のものが一緒に展示されている）。 - 子ども向けの説明板がない。	- 地元の保存運動を受けて、市が公園を整備した。 - トレンチ調査後、5,000 m²程度を詳細調査し、保存した。
4 早宮史跡公園 (練馬区)	- オープンスペースにするより、市民の憩いの場にするため、子どもたちを取り込んだ。 - 学校や町会に声をかけ、公園をつくるまではたくさんのイベントを組んだ。発掘体験、土器の野焼きや縄文土器片を石膏でかたどったタイルづくり、縄文人の顔のプレート（タイル）づくりとともに、弥生時代の象徴として、銅鐸のモニュメントをつくった。 - 試掘調査で遺構を確認し、住居跡を1つだけ発掘調査して復元した。 - 遊具は置かず、子どもたちの体験学習利用に配慮し、トイレを設置した。	- 見晴台をつくってから崖線が宅地開発され、見通しが利かなくなった。 - 子ども向けの説明板がない。 - 公園のオープンまでは多くのイベントがもたれたが、公園を利用した事業を行っていない。	- 地元の保存運動が始まる前に、区で土地を買い上げ、公園を整備した。 - 遺跡名は「東早淵遺跡」である。
5 池淵史跡公園 (練馬区)	- 遺跡の形を活かし、公園の全体配置を行った。 - 遺構の形や位置を植栽で表現した。例えば、円形の縄文住居は盛り土をした上に芝生を植えた。溝状遺構にも植栽した。 - 遊具は置かない。 - 隣接する石神井公園や区民プールにトイレがあるため、ここにトイレを設置しなかった。 - 石神井城址などと一緒に活用できるような取り組みがなされている。	子ども向けの説明板がない。	地元の保存運動を受けて、区が公園を整備した。
6 水子貝塚公園 (埼玉県富士見市)	- 整備に史跡等活用特別事業（平成3～5年度）を活用した。 - 整備の考え方として、①原寸大で集落スケールを示す、②縄文海と貝塚の関係を示す、③原寸大で貝層の形成や出土状況を示す、ことを重点にした。 - 規模が大きく、園内に展示館（ガイダンス施設）があり、隣接して資料館があるなど、充実している。資料館には専任職員がおり、①展示、②調査研究、教育普及・広報事業を実施している。 - 平成14年から市民ボランティア活用事業を始めたが、人数は多くないが多彩である。 - 遊具は置かない。 - 子どもたちの体験学習利用に配慮し、展示館とは別に屋外トイレを設置した。	- 国指定史跡であり、遺跡保存のために柵で囲い、門からしか出入できない。 - 園内には復元住居があり、管理面から夜は閉鎖する。	整備してから期間が経ち、施設損壊と修繕が課題になっている。

(2) 史跡公園の整理

①下宅部（しもやけべ）遺跡はっけんのもり

1 全景

- ・ 東側住棟の階段から見た遺跡公園の全景



2 案内板

- ・ エントランス脇の擬木を使った案内板



3 復元された水路と通路

- ・ 復元された縄文と古代の水路跡（縄文は通路として）



4 縄文の森

- ・ カヤ・トチ・クルミなど、縄文時代の樹種を植樹



5 池状遺構の復元モニュメント

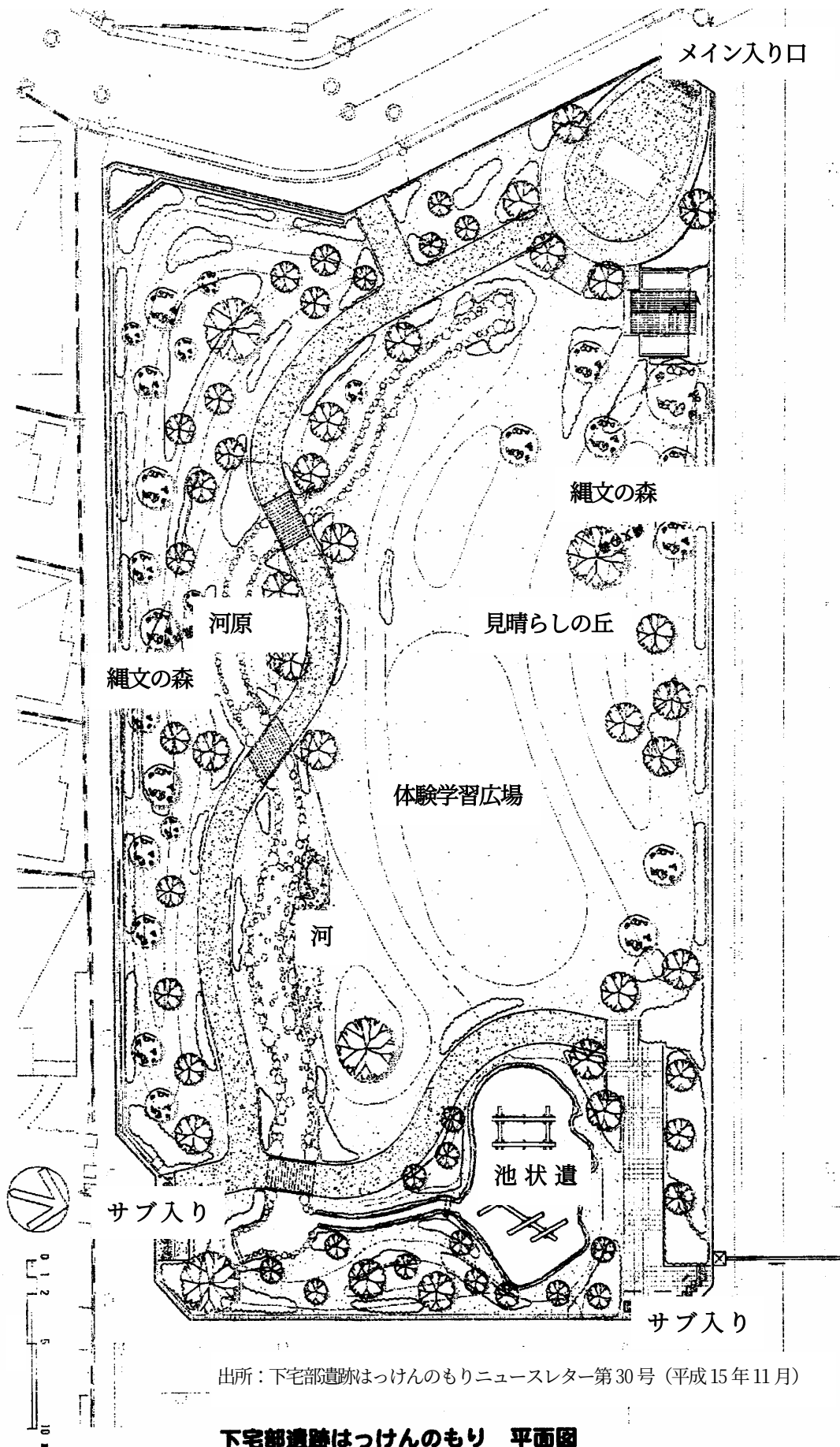
- ・ 発掘された池状遺構の復元



6 野焼きした縄文土器の展示

- ・ 縄文土器を野焼きし、園内に展示





②小山台（こやまだい）遺跡公園

1 あずまや

- ・広場の脇にある木製のあずまや



2 復元された住居跡と説明板

- ・復元された住居跡と説明板の脇にある外灯



3 高台の広場

- ・高台の広場は崖線の保存林につながっている



4 高台の広場

- ・高台の広場から黒目川と市街地が見渡せる



5 トイレ

- ・最近改修されたトイレ



6 復元された住居跡

- ・復元された住居跡を囲む構造物





出所：4 小山・金山コース 丘のこみち 雑木林のみち 東京都環境保全局 （1997年3月）



出所：小山台遺跡公園図 東久留米市教育委員会提供

③下里本邑（しもさとほんむら）遺跡公園

1 案内板、水飲み場

- ・エントランス脇に、案内板、トイレ、水飲み場



2 旧石器時代礫群（地面に復元）

- ・地面に復元された旧石器時代礫群



3 芝生広場からの眺望（休けい広場方面）

- ・木製のあずまやは高木に囲まれている



4 芝生広場からの眺望（憩いの広場方面）

- ・憩いの広場では子ども野球チームが練習中



5 あずまや

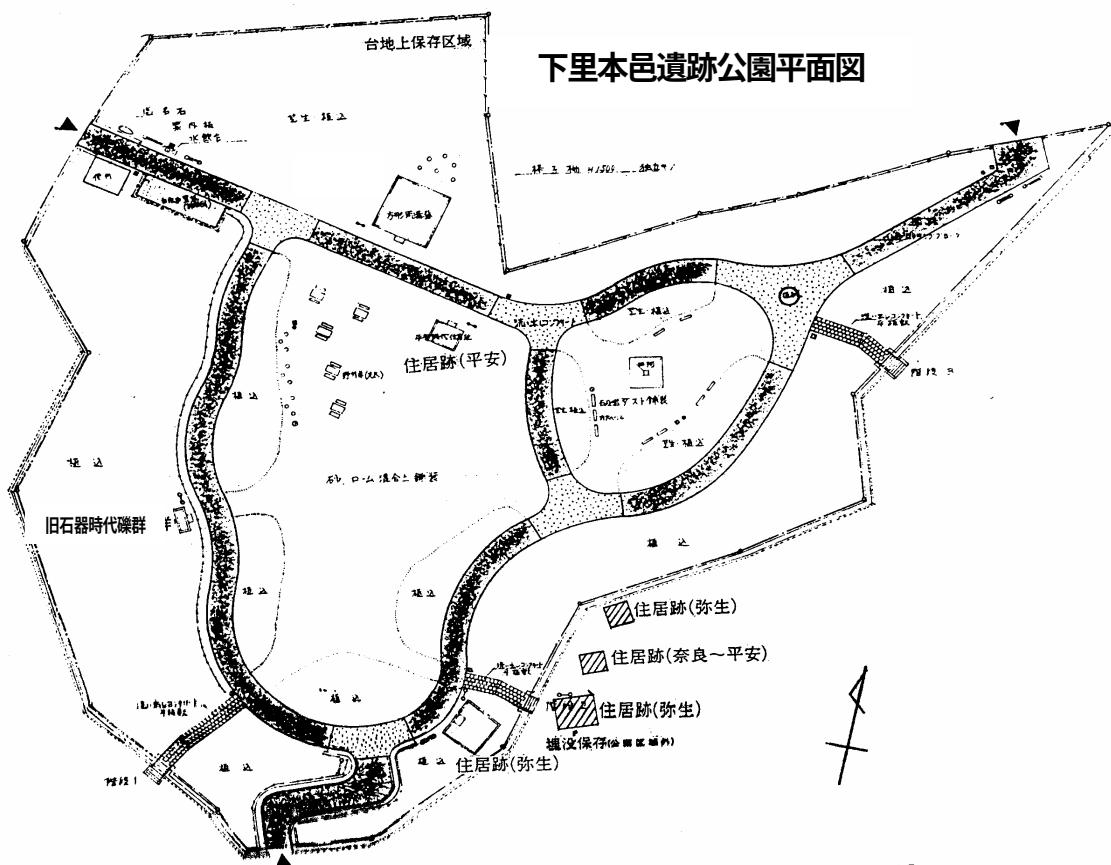
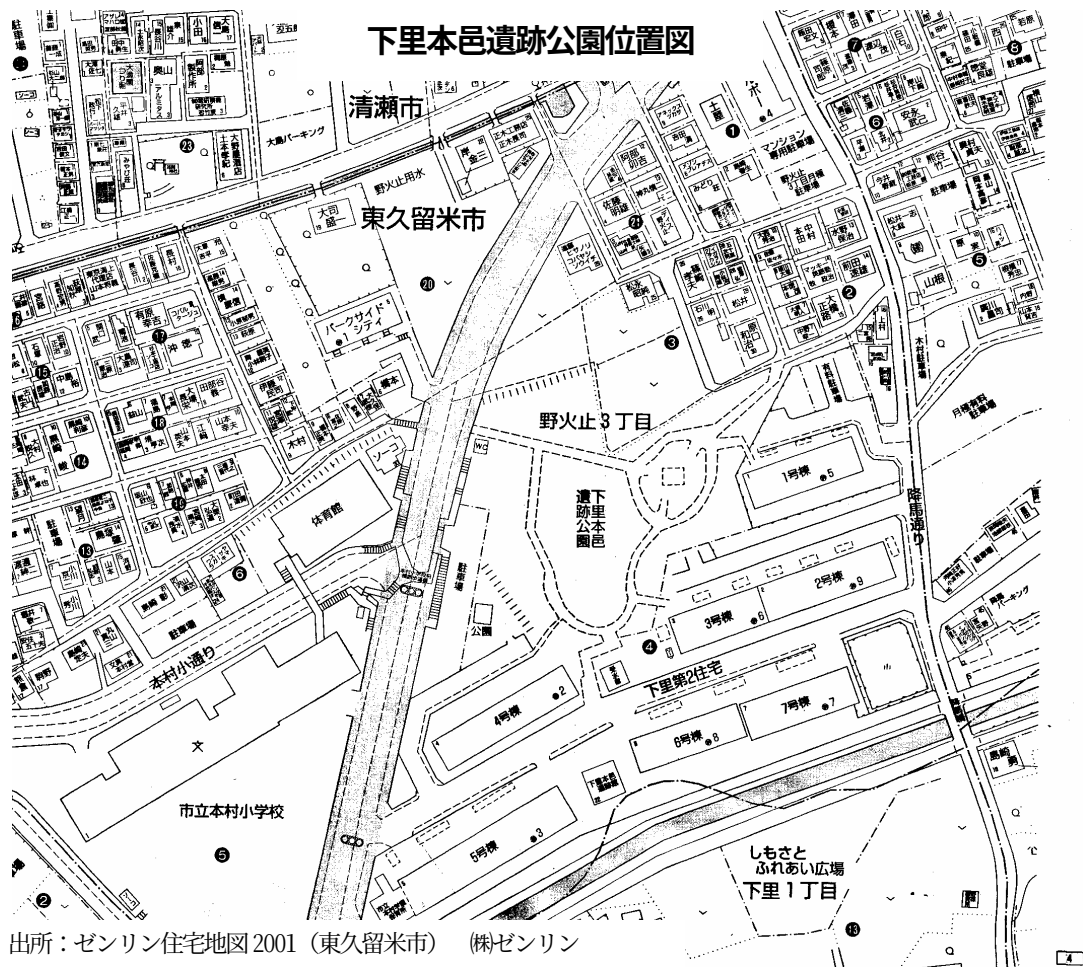
- ・林間の休けい広場の中央にある木製のあずまや



6 住居跡（盛土保存）

- ・盛土保存し、植込でその位置を示した住居跡





④早宮（はやみや）史跡公園

1 エントランス

- ・青銅鐸を模した門柱と車止め



2 駐輪場

- ・駐車防止の工夫がなされた駐輪場



3 復元された住居跡

- ・古墳住居の木組みを復元
- ・子どもの縄文人の顔をタイルにし、モニュメントに貼る



4 見晴らし台

- ・木製の見晴らし台



5 時計塔

- ・モニュメンタルな時計塔と説明板



6 トイレ

- ・エントランス脇のトイレブース



い　　は　　み　　や
現在の早宮にて想像した

2004

そして、みんなで古代をあれこれ想像し、一枚の絵を描きあげました。まるで紙の上のタイムトリップ!



● 個性的な古代人自画像
狂想／



▲先生の熱のこもった語りが、古代への思いをかきたてます



◀じっとしてるスイカだけど、
矢をあてるのはむずかしい



▼みんなの想像力が合わさって、
1枚の絵ができてゆく



▲土器づくり、最後の仕上げは慎重に

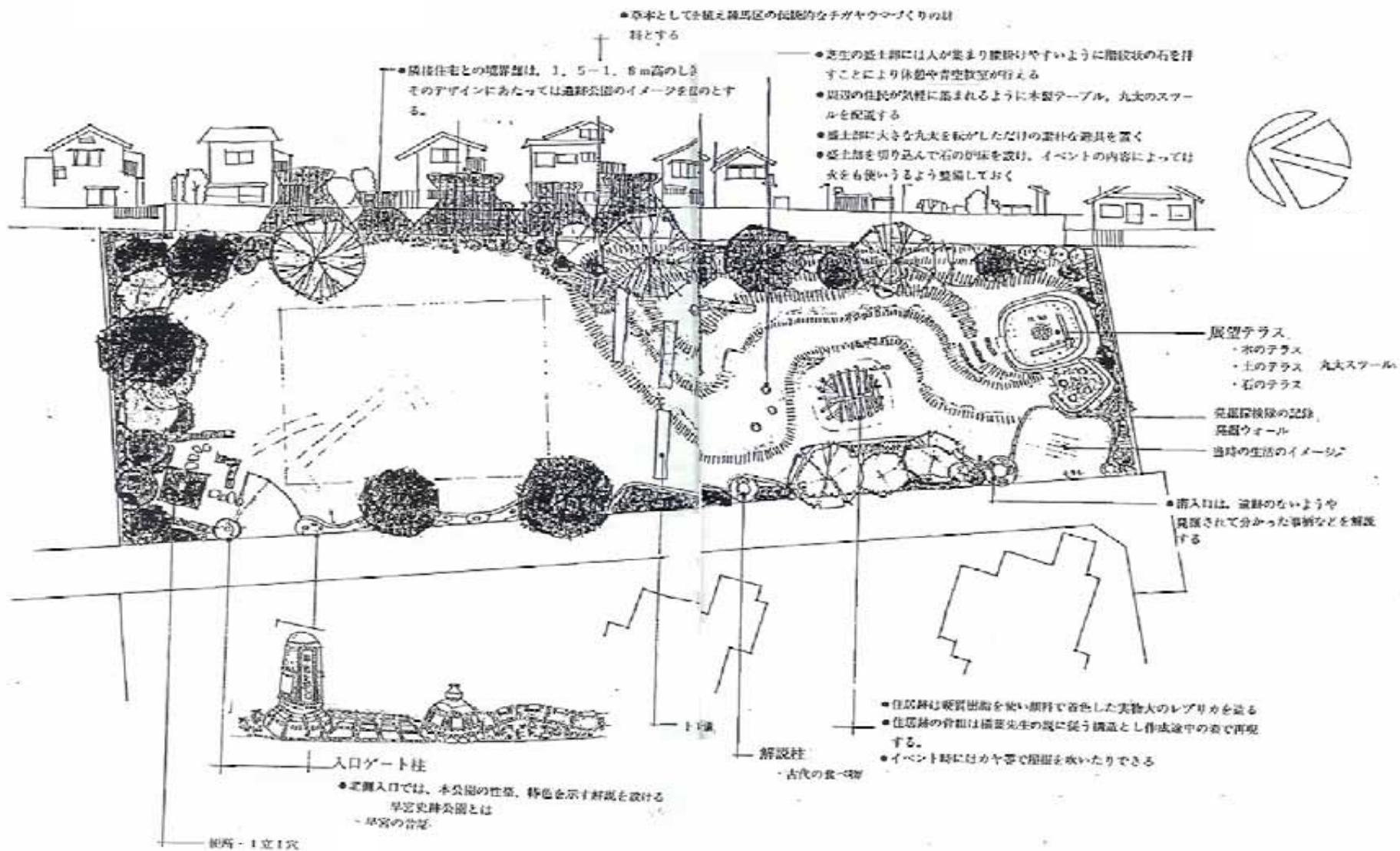
❖ できあがった土器を手に、ハイポーズ

早宮史跡公園への行き方



36

早宮史跡公園平面図



出所：早宮史跡公園平面図 練馬区土木部公園課提供

⑤池淵（いけぶち）史跡公園

1 エントランス

- ・エントランス部分の門と低い堀



2 案内板

- ・木製の支柱でできた案内板



3 水飲み場・案内板

- ・エントランス脇の水飲み場・と内板



4 広場

- ・大きな樹木に囲まれた土の広場



5 説明板

- ・土器や器についての木製の説明板



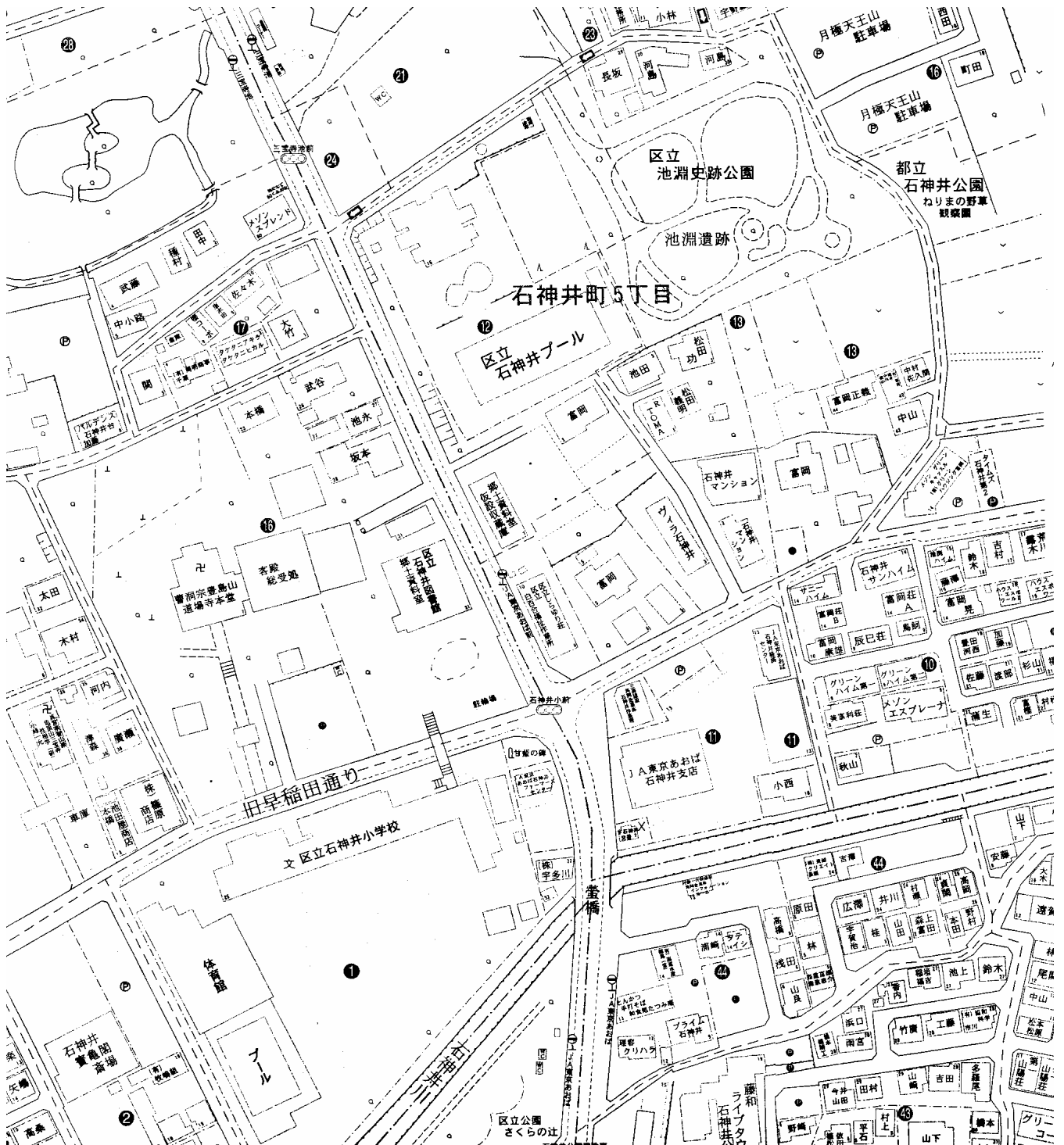
6 パーゴラ

- ・木製のブジ棚（パーゴラ）



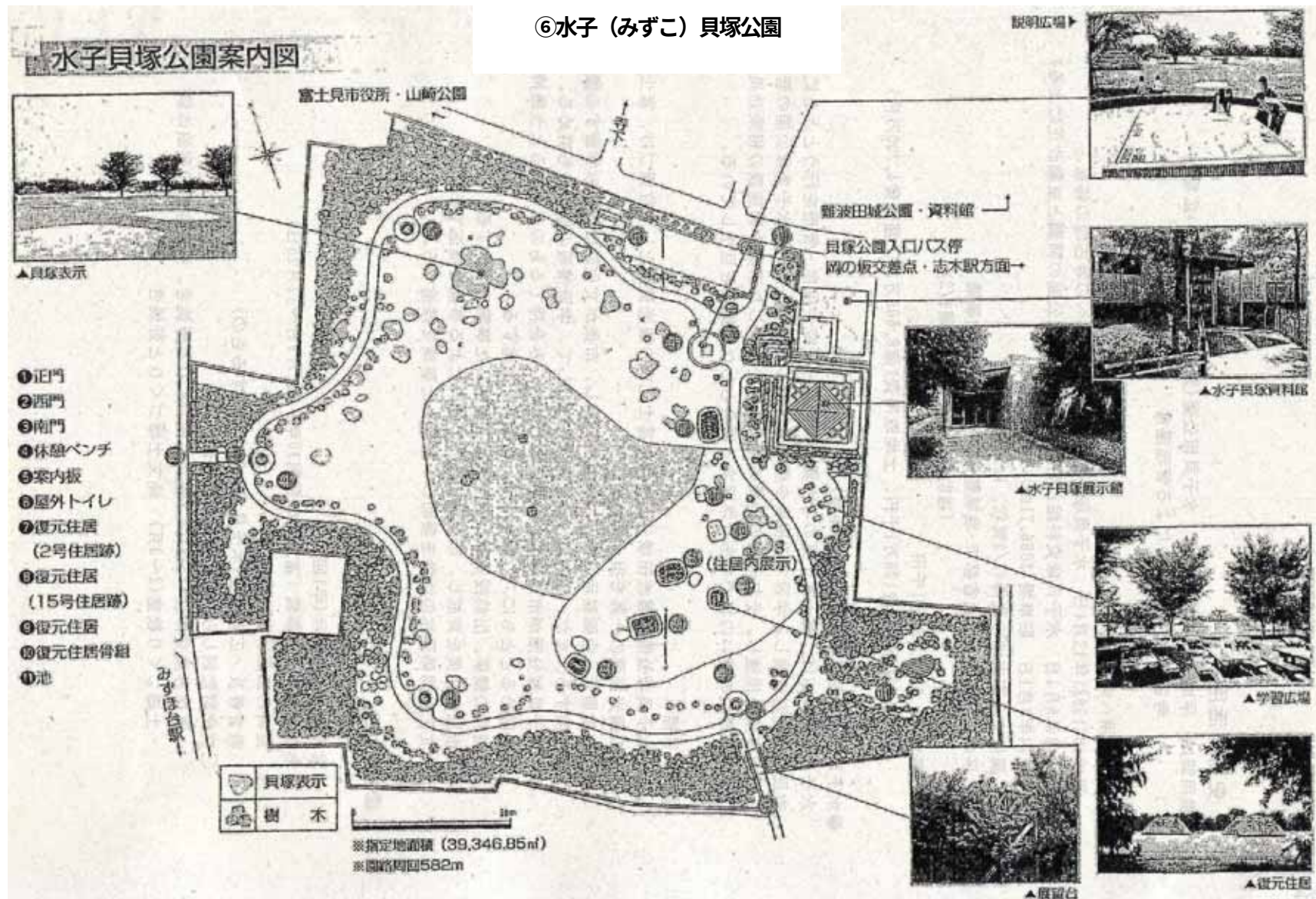
池淵史跡公園位置図

0 20 40 60 80 100m



出所：ゼンリン住宅地図 2001（練馬区）（株）ゼンリン

⑥水子（みずこ）貝塚公園



出所：「史跡 水子貝塚の整備と活用」 富士見市教育委員会提供

⑦縄文の村（多摩ニュータウンN57 遺跡）

1 案内板



2 カヤ、スダジイ、クリなどの実



4 トチの木（縄文後期復元住居付近の縄文の森）



5 クルミ、クリの木
（縄文中期復元住居付近の縄文の森）



3 カヤの木（縄文の森）

